

カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

		令和3年度 商業実務専門課程 (ホテル・ブライダル学科)												
専門・一般		年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
専門	ホテルマンとして必要な知識と技術を習得する	1	前期	専門	○			ホテル概論ⅠA	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		1	後期	専門	○			ホテル概論ⅠB	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		2	前期	専門	○			ホテル概論ⅡA	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		1	前期	専門	○			FB実務ⅠA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	30	1		○	
		1	後期	専門	○			FB実務ⅠB	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	30	1		○	
		2	前期	専門	○			FB実務ⅡA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	30	1		○	
		1	前期	専門	○			ブライダル総論ⅠA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	30	2	○		
		1	後期	専門	○			ブライダル総論ⅠB	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	30	2	○		
		2	前期	専門	○			ブライダル総論ⅡA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	30	2	○		
インバウンド対応のできる英語力を習得する		1	前期	専門	○			ホテル実用英語ⅠA	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		○	
		1	後期	専門	○			ホテル実用英語ⅠB	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		○	
		1	前期	専門	○			TOEIC L&RⅠA	TOEICスコア600点を目標とした語彙力、リスニング力の向上	60	2		○	
		1	前期	専門	○			TOEIC S&WⅠA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	60	2		○	
		1	後期	専門	○			TOEIC L&RⅠB	TOEICスコア600点を目標とした語彙力、リスニング力の向上	60	2		○	
		1	後期	専門	○			TOEIC S&WⅠB	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	60	2		○	
		2	前期	専門	○			TOEIC L&RⅡA	TOEICスコア600点を目標とした語彙力、リスニング力の向上	60	2		○	
		2	前期	専門	○			TOEIC S&WⅡA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	60	2		○	
サービス業に求められる知識と技能を習得する		1	前期	専門	○			サービス接客ⅠA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		1	後期	専門	○			サービス接客ⅠB	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		2	前期	専門	○			サービス接客ⅡA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		2	前期	専門	○			フラワーアレンジメントⅡA	婚礼に必要な知識としてブライダルブーケの基本的テクニックを習得する	30	1		○	
		1	前期	専門	○			ブライダルビューティⅠA	婚礼に必要な知識としてブライダルヘアーの基本的知識を習得する	30	1		○	
		1	後期	専門	○			ブライダルビューティⅠB	婚礼に必要な知識としてブライダルメイクの基本的知識を習得する	30	1		○	
		1	後期	専門	○			ICT活用ⅠB	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		○	
		2	前期	専門	○			ICT活用ⅡA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		○	
		1	前期	専門	○			ICT演習ⅠA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○	
		1	後期	専門	○			ICT演習ⅠB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○	
		1	前期	専門	○			異文化コミュニケーションⅠA	インバウンド対応に必要なコミュニケーション能力の向上と異文化の理解を目的とする	30	1		○	
		1	後期	専門	○			ホテルブライダルマーケティングⅠB	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		○	
		2	前期	専門	○			ホテルブライダルマーケティングⅡA	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		○	
		1	前期	専門	○			富山学ⅠA	富山県の観光を学ぶことを目的とする	30	1		○	
		1	前期	専門	○			色彩ⅠA	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○	
		1	後期	専門	○			色彩ⅠB	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○	
1	前期	専門	○			ウエディングスビューティフルⅠA	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	30	1		○			
1	後期	専門	○			ウエディングスビューティフルⅠB	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	30	1		○			

	1	前期	一般			○	NIBIA	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼン力、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		○	
	2	前期	一般			○	NIBIA	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼン力、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		○	
	1	前期	一般			○	表現力IA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
	2	前期	一般			○	表現力IIA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
	1	後期	一般	○			キャリア支援IA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2		○	
	2	前期	一般	○			キャリア職支援IIA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2		○	
	1	前期	一般	○			データマーケティングIA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身に付け、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
	1	後期	一般	○			データマーケティングIB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身に付け、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
	2	前期	一般	○			データマーケティングIIA	POSデータやドルフィンアイなどのビックデータを生かし、マーケティング観点からの課題解決方法について学ぶ	30	1		○	
現場力・実践力を身に付ける	2	後期	専門		○		インターンシップ(海外) IIB	海外にて実践的な英語の活用とマーケティング、イノベーションについて学ぶことを目的とする	450	10			○
	2	後期	専門		○		インターンシップ(国内) IIB	授業で学んだホテル・ブライダル知識を現場で実践躬行することを目的とする	450	10			○

合計	46 科目	2400 単位時間	68 単位)
----	-------	-----------	--------

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 64単位取得 GPA2.0以上 必修科目を取得していること (H), (B) どちらかの選択必修科目を全て取得していること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

科目名	ホテル概論 I A					学期	前 期
担当教員	高野 直人	科目区分	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数
学習目的	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得						
授業内容	ホテル産業の基礎的知識を学習する						
学習目標	今後さらにグローバル化する地域、社会におけるホテル産業の重要性とホテルの宿泊、料飲、宴会、調理各部門						
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
1	第1章 ホテルの基礎 □ホテルとは	【事前】	ホテル産業について予習				
		【事後】	ホテル調査				
2	第1章 ホテルの基礎 □欧米の歴史	【事前】	欧米のホテルの歴史について				
		【事後】	ホテル調査のレポート提出				
3	第1章 ホテルの基礎 □日本の発展史	【事前】	日本のホテル発展史				
		【事後】	課題提出				
4	第1章 ホテルの基礎 部門別機能□ホテルの組織、サービスの基本	【事前】	サービスの基本				
		【事後】	検定試験問題集による小テスト				
5	第1章 ホテルの基礎 部門別機能□ホテルの組織、関連法規	【事前】	ホテルの組織について				
		【事後】	ホテル調査				
6	第1章 ホテルの基礎 将来展望 今後の課題 □トレンド調査	【事前】	トレンド調査				
		【事後】	課題提出				
7	第1章 ホテルの基礎 □国際儀礼の基本	【事前】	プロトコール				
		【事後】	課題提出				
8	第1章 ホテルの基礎 □ホスピタリティマインド	【事前】	ホテル調査				
		【事後】	レポート提出				
9	第1章 ホテルの基礎 □ホテル関連知識	【事前】	第1章ホテルの基礎 まとめ				
		【事後】	検定試験問題集による小テスト				
10	第2章 宿泊部門の業務□宿泊部門の概要	【事前】	宿泊部門の概要				
		【事後】	課題提出				
11	第2章 宿泊部門の業務 □宿泊商品の特性	【事前】	宿泊部門の特性				
		【事後】	課題提出				
12	第2章 宿泊部門の業務 □組織と業務役割	【事前】	ホテル調査				
		【事後】	レポート提出				
13	第2章 宿泊部門の業務 □宿泊商品の基本知識	【事前】	宿泊商品				
		【事後】	検定試験問題集による小テスト				
14	第2章 宿泊部門の業務 □担当者業務	【事前】	第2章宿泊部門 まとめ				
		【事後】	検定試験問題集による小テスト				
15	第2章 宿泊部門の業務 □まとめ	【事前】	第1章・2書のまとめ				
		【事後】	前期期末試験				
	評価項目/割合	評 価 内 容					
評価基準	1. 課題 30%	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出					
	2. 授業姿勢 30%	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視—私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚					
	3. テストその他 40%	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえてホテルコースは2年次に実施予定の「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。企業連携を通して、企画提案や商品開発などの実践を行う。						

科目名	ホテル概論 I B						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目標	ホテルに関する基礎知識を習得し、「ホテルビジネス実務検定ベーシック2級」に合格する								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第3章 料飲部門の業務	料飲部門の特性				【事前】	料飲部門の特性		
						【事後】	課題提出		
2	第3章 料飲部門の業務	料飲部門の組織				【事前】	ホテル・旅館調査		
						【事後】	レポート提出		
3	第3章 料飲部門の業務	料飲部門の業務役割				【事前】	料飲部門の基本知識		
						【事後】	検定試験問題集による小テスト		
4	第3章 料飲部門の業務	料飲部門の基本知識				【事前】	料飲部門の業務		
						【事後】	課題提出		
5	第3章 料飲部門の業務	料飲部門の担当業務				【事前】	料飲部門の実務		
						【事後】	ホテル・旅館調査		
6	第3章 料飲部門の業務	料飲実務の実務				【事前】	料飲部門の実務		
						【事後】	小テスト		
7	第3章 料飲部門の業務	料飲実務の実務				【事前】	料飲部門の実務		
						【事後】	レポート提出		
8	第3章 料飲部門の業務	第3章のまとめ				【事前】	料飲部門のまとめ		
						【事後】	第3章テスト		
9	第4章 宴会部門の業務	宴会商品の特性				【事前】	宴会部門の特性		
						【事後】	課題提出		
10	第4章 宴会部門の業務	宴会部門の組織				【事前】	宴会部門の組織と業務役割		
						【事後】	小テスト		
11	第4章 宴会部門の業務	宴会部門の業務				【事前】	ホテル・旅館調査		
						【事後】	課題提出		
12	第4章 宴会部門の業務	宴会部門の実務				【事前】	宴会部門の組織と業務役割		
						【事後】	小テスト		
13	第4章 宴会部門の業務	宴会部門の実務				【事前】	宴会部門の実務		
						【事後】	課題提出		
14	第4章 宴会部門の業務	まとめ 宴会部門の実務				【事前】	宴会部門の担当者業務		
						【事後】	小テスト		
15	第4章 宴会部門の業務	まとめ				【事前】	第3章・4章まとめ		
						【事後】			
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出						
	2. 授業姿勢	30%	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視＝私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないうちで靴を脱いだり、脚						
	3. テストその他	40%	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。								

科目名	ホテル概論ⅡA						学期	前期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目標	ホテルに関する基礎知識を習得し、「ホテルビジネス実務検定ベーシック2級」に合格する								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性□制約要件からくる特性	【事前】	調理部門の特性						
		【事後】	課題提出						
2	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性□メニュー開発・経費から見たの	【事前】	ホテル・旅館調査						
		【事後】	レポート提出						
3	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割□調理部門の組織	【事前】	調理部門の組織						
		【事後】	小テスト						
4	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割□料理部門の業務	【事前】	メイン・宴会・レストラン・製菓の各業務						
		【事後】	課題提出						
5	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務□調理の種類・施設・設備・備品	【事前】	ホテル・旅館調査						
		【事後】	レポート提出						
6	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務□西洋料理の基礎知識	【事前】	西洋料理の基礎知識						
		【事後】	小テスト						
7	第5章 調理部門の業務 担当業務□西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務						
		【事後】	課題提出						
8	第5章 調理部門の業務 担当業務□西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務						
		【事後】	小テスト						
9	第5章 調理部門の業務 担当業務□西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務						
		【事後】	第5章 調理部門のまとめ						
10	第5章 調理部門のまとめ	【事前】	第5章の復習						
		【事後】	小テスト						
11	第1章・2章の復習	【事前】	練習問題						
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習						
12	第3章・4章の復習	【事前】	練習問題						
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習						
13	検定試験対策 1章・2章	【事前】	練習問題						
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習						
14	検定試験対策 3章・4章	【事前】	練習問題						
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習						
15	検定試験対策 5章	【事前】	復習問題						
		【事後】							
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30%	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出							
	2. 授業姿勢 30%	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視＝私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚							
	3. テストその他 40%	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。								

科目名	FB実習 I A						学期	前 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る								
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ								
学習目標	ランチイベントの企画・運営								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	接客の基本□レストランサービス要員に求められる資質□ 身体的資質□ 知的資質								
2	接客の基本□レストランサービス要員に求められる資質□ 精神性と道徳性□ プロフェッショナルとしての資質								
3	接客の基本□資質を生かす具体的行動指針□ 協調性□ 品格のある行動								
4	接客の基本□職務上の容姿、服装□ 制服□ 身だしなみ								
5	接客の基本□ レストランの要員とそれぞれの任務□ 各種サービス準備の作業□ 施設の整備								
6	接客の基本□接客動作□ 諸準備を完了してお客様を迎える□ 接客にあたって								
7	什器備品□ 什器備品の種類、名称、用途								
8	食器の取扱いと管理□ 取扱い上の留意点								
9	レストランの管理業務□ オープン前の準備□ クローズ後の業務□客席案内								
10	メニュー作成□ メニューの構成								
11	ランチイベント								
12	ランチイベント								
13	ランチイベント								
14	ランチイベント								
15	ランチイベント振り返り□								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30 %			ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する					
	2. 授業姿勢 30 %			授業態度、積極性・協調性などから評価する					
	3. テスト等 40 %			レポート、テスト結果等を評価する					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定									

科目名	FB実習IB						学期	後	期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営ができる								
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ								
学習目標	ランチイベントの企画・運営								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	レストラン運営□ 商品化計画								
2	レストラン運営□ セールス								
3	レストラン運営□ 販売促進、広報								
4	テーブル上での事故対処□ 救護方法								
5	注文□ 注文の受け方□ 販売促進								
6	料理の運搬□ 食器類の運搬及び持ち方□ 料理の運搬及び持ち方□ 歩行動作								
7	テーブルサービス□ 料理、飲物に応じたテーブルサービスの方法								
8	食器類の片付け方法□ 皿とナイフ、フォーク□ グラス								
9	テーブル上での事故対処□ 救護方法								
10	サービス実技トレーニング□ シミュレーション								
11	ランチイベント								
12	ランチイベント								
13	ランチイベント								
14	ランチイベント								
15	ランチイベント振り返り□								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する						
	2. 授業姿勢	30%	授業態度、積極性・協調性などから評価する						
	3. テスト	40%	レポート、テスト結果等を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定									

科目名	FB実習ⅡA						学期	前 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営ができる								
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ								
学習目標	ランチイベントの企画・運営								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	メニュー考案□ 市場調査□ コンセプト								
2	メニュー考案□ 提案書作成								
3	提案書の発表								
4	レストラン運営□ 商品化計画								
5	苦情処理□ 料飲接客サービスにおける苦情処理								
6	苦情処理□ 受客の拒否□ スキッパーなど								
7	レストラン運営□ セールス□ 販売促進、広報								
8	サービス実技トレーニング□シミュレーション								
9	サービス実技トレーニング□シミュレーション								
10	ランチイベント リハーサル								
11	ランチイベント								
12	ランチイベント								
13	ランチイベント								
14	ランチイベント								
15	ランチイベント振返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30%			ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する					
	2. 授業姿勢 30%			授業態度、積極性・協調性などから評価する					
	3. テスト等 40%			レポート、テスト結果等を評価する					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定									

科目名	ブライダル総論 I A						学期	前	期	期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2	
学習目的	ウェディングプランナーとして必要な基礎知識を学習する									
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ									
学習目標	AWP検定に合格し、ブライダル業務全般を理解する									
使用テキスト	ウェディングプランナーテキスト									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	ヒューマン概論・歴史概論	【事前】	ブライダル産業について予習							
		【事後】	ブライダル調査							
2	言語概論・プレゼンテーション	【事前】	結婚式の歴史について							
		【事後】	ブライダル調査のレポート提出							
3	接客概論・ロールプレイング	【事前】	結婚式の発展							
		【事後】	課題提出							
4	実務概論	【事前】	サービスの基本							
		【事後】	検定試験問題集による小テスト							
5	タイムスケジュール・見積書	【事前】	結婚式の組織について							
		【事後】	ホテル調査							
6	テーブルプラン	【事前】	トレンド調査							
		【事後】	課題提出							
7	席次表と続柄	【事前】	トレンド調査							
		【事後】	課題提出							
8	オリジナルプラン作成	【事前】	結婚式場調査							
		【事後】	レポート提出							
9	オリジナルプラン提案	【事前】	まとめ							
		【事後】	検定試験問題集による小テスト							
10	クリエイティブ概論	【事前】	結婚式場調査							
		【事後】	課題提出							
11	広告・企画概論	【事前】	ブライダル商品							
		【事後】	課題提出							
12	経済概論	【事前】	ブライダル商品							
		【事後】	レポート提出							
13	披露宴の役割	【事前】	ブライダル商品							
		【事後】	検定試験問題集による小テスト							
14	披露宴の役割	【事前】	第2章宿泊部門 まとめ							
		【事後】	検定試験問題集による小テスト							
15	模擬披露宴	【事前】	まとめ							
		【事後】	前期期末試験							
		評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題	30 %	実習課題の取り組み姿勢							
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い							
	3. テストその他	40 %	期末テスト							
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標 検定・ 課外 授業 実施 予定・ その他										

科目名	ホテル概論 I B					学期	後 期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修
						単位数	2
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する						
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ						
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となることを理解する						
使用テキスト	ウェディングプランナーテキスト						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
1	ブライダルに関わる人々の役割	【事前】	サービス部門の特性		【事後】	課題提出	
		【事後】			【事前】	ホテル結婚式調査	
2	ブライダルストーリー：集客・告知	【事前】	ホテル結婚式調査		【事後】	レポート提出	
		【事後】			【事前】	サービス部門の基本知識	
3	ブライダルストーリー：計画の基礎（マーケティング）	【事前】	サービス部門の基本知識		【事後】	検定試験問題集による小テスト	
		【事後】			【事前】	プランナーの業務	
4	ブライダルストーリー：ビジネスパートナー選定	【事前】	プランナーの業務		【事後】	課題提出	
		【事後】			【事前】	プランナーの実務	
5	ブライダルストーリー：ブライダル現場における用語、必要知識の理解	【事前】	プランナーの実務		【事後】	ホテル結婚式調査	
		【事後】			【事前】	プランナーの実務	
6	ブライダルストーリー：プランニング・コンセプトシート作成	【事前】	プランナーの実務		【事後】	小テスト	
		【事後】			【事前】	プランナーの実務	
7	ブライダルストーリー：会場レイアウト・会場装飾プランニング	【事前】	プランナーの実務		【事後】	レポート提出	
		【事後】			【事前】	まとめ	
8	ブライダルストーリー：コンセプトシートプレゼンテーション	【事前】	まとめ		【事後】	小テスト	
		【事後】			【事前】	プロデューサーの特性	
9	ブライダルストーリー：婚礼見積書の作成	【事前】	プロデューサーの特性		【事後】	課題提出	
		【事後】			【事前】	プロデューサー業務の役割	
10	ブライダルストーリー：新規接客の基本・ロールプレイング	【事前】	プロデューサー業務の役割		【事後】	小テスト	
		【事後】			【事前】	ホテル結婚式の調査	
11	ブライダルストーリー：パートナー選定、パートナーとのキックオフミーティング	【事前】	ホテル結婚式の調査		【事後】	課題提出	
		【事後】			【事前】	プロデューサー業務の役割	
12	ブライダルストーリー：婚礼打合せ① 全体説明、見積り、招待状、各種手配	【事前】	プロデューサー業務の役割		【事後】	小テスト	
		【事後】			【事前】	プランナー以外の実務	
13	ブライダルストーリー：婚礼打合せ後の業務① 招待状の発注、各種手配	【事前】	プランナー以外の実務		【事後】	課題提出	
		【事後】			【事前】	プランナー以外の業務	
14	ブライダルストーリー：婚礼打合せ②の準備 コンセプトシート、プランニング基礎作成 料理、飲料、装花装飾、演出、写真、映像、引出物等	【事前】	プランナー以外の業務		【事後】	小テスト	
		【事後】			【事前】	まとめ	
15	ブライダルストーリー：婚礼打合せ後の業務② 書類作成、各種手配	【事前】	まとめ		【事後】		
		【事後】					
	評価項目/割合	評価内容					
評価基準	1. 課題 30%	実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーション もっと素敵な結婚式にするための情					
	2. 授業姿勢 30%	積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力					
	3. テストその他 40%	授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、提案					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。						

科目名	ホテル概論ⅡA						学期	前期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となることを理解する								
使用テキスト	ウエディングプランナーテキスト								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	前期の振り返り	【事前】	ブライダルのトレンド			【事後】	課題提出		
		【事後】				【事前】	ブライダルのトレンド		
2	ブライダルストーリー：ビジネスパートナーとの情報共有	【事前】	ブライダルのトレンド			【事後】	レポート提出		
		【事後】				【事前】	ブライダルのトレンド		
3	ブライダルストーリー：婚礼会場との打合せ、情報共有	【事前】	ブライダルのトレンド			【事後】	小テスト		
		【事後】				【事前】	ブライダルのトレンド		
4	ブライダルストーリー：婚礼打合せ③の準備 最終版資料作成、手配先確	【事前】	ブライダルのトレンド			【事後】	課題提出		
		【事後】				【事前】	フォトウエディング		
5	ブライダルストーリー：婚礼打合せ③ 司会打合せ、当日に向けての最終	【事前】	フォトウエディング			【事後】	レポート提出		
		【事後】				【事前】	フォトウエディング		
6	ブライダルストーリー：婚礼打合せ後の業務③ 書類作成、各種手配	【事前】	フォトウエディング			【事後】	小テスト		
		【事後】				【事前】	フォトウエディング		
7	ブライダルストーリー：最終確認 パートナー個別最終打ち合わせ	【事前】	フォトウエディング			【事後】	課題提出		
		【事後】				【事前】	フォトウエディング		
8	ブライダルストーリー：最終確認 リハーサル	【事前】	フォトウエディング			【事後】	小テスト		
		【事後】				【事前】	レストランウエディング		
9	ブライダルストーリー：最終確認 会場・パートナー打合せ	【事前】	レストランウエディング			【事後】	まとめ		
		【事後】				【事前】	レストランウエディング		
10	ブライダルストーリー：搬入、準備	【事前】	レストランウエディング			【事後】	小テスト		
		【事後】				【事前】	レストランウエディング		
11	ブライダルストーリー：前日リハーサル・会場確認・手配物確認	【事前】	レストランウエディング			【事後】	検定問題		
		【事後】				【事前】	練習問題		
12	ブライダルストーリー：本番	【事前】	練習問題			【事後】	検定問題		
		【事後】				【事前】	練習問題		
13	ブライダルストーリー：反省会 オペレーション、業績、改善案	【事前】	練習問題			【事後】	過去問		
		【事後】				【事前】	練習問題		
14	ブライダルストーリー：ビジネスパートナーとの反省会 次年度への引き	【事前】	練習問題			【事後】	過去問		
		【事後】				【事前】	復習問題		
15	ブライダルストーリー：振り返りディスカッション	【事前】	復習問題			【事後】			
		【事後】							
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30%	実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーション もっと素敵な結婚式にするための情							
	2. 授業姿勢 30%	積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力							
	3. テストその他 40%	授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、提案							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	ホテル実用英語 I A						学期	前 期	
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテルにおける各現場（フロント・レストラン・客室等）で想定される場面において、接客サービスに必要な基礎的な語彙								
授業内容	ホテルスタッフと顧客とのロールプレイ形式を中心としたアウトプット型の演習								
学習目標	ホテルにおける各現場における接客サービスに必要な基礎的な語彙・表現に習熟し、読む・聞く・話す・書くことができる								
使用テキスト	Hotel & Hospitality English by Mike Deymour, Harper Collins を軸に、適宜、補助プリント等を使用する								
週数	授業計画								
1	・オリエンテーション：①「授業の目的と目標」②「英語学習における基本的姿勢」③「アクティブラーニングとは」④「WEB								
2	Unit 1: Welcoming Guests								
3	Unit 2: Welcoming Guests with no reservation								
4	Unit 3: "Difficult" Guests								
5	Unit 4: Looking after Guests (1)								
6	Unit 5: Looking after Guests (2)								
7	Unit 6: Reservation Inquiries								
8	Unit 7: Reservation changes								
9	Unit 8: Phone Calls to Reception								
10	Unit9: Communication Problems								
11	Unit 10: Gues Problems								
12	Unit 11: At Breakfast								
13	Unit 12: At the Bar								
14	Unit 13: Complaints from Guests at the Bar								
15	Unit 14: In the Restaurant (1)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基	1. 課題 40 %			指定する課題（ロールプレイによる発表を含む）への取り組み状況を評価します					
	2. 授業姿勢 30 %			出欠および授業への参加姿勢を評価します					
	3. テスト 30 %			毎回の授業で行うミニテストの結果を評価します					
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
授業実	テキストの各ユニットのロールプレイが中心ですが、そのほかに、以下の演習を行います。①発音クリニック②簡単な読み物によ								

科目名	ホテル実用英語 I B						学期	後 期	
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテルにおける各現場（フロント・レストラン・客室等）で想定される場面において、接客サービスに必要な基礎的な語彙								
授業内容	ホテルスタッフと顧客とのロールプレイ形式を中心としたアウトプット型の演習								
学習目標	ホテルにおける各現場における接客サービスに必要な基礎的な語彙・表現に習熟し、読む・聞く・話す・書くことができる								
使用テキスト	Hotel & Hospitality English by Mike Deymour, Harper Collins を軸に、適宜、補助プリント等を使用する								
週数	授業計画								
1	Unit 14: In the Restaurant (1)※TOEIC Bridge Test の模擬試験による実力測定								
2	Unit 15: In the Restaurant (2)								
3	Unit 16: In the Restaurant (3)								
4	Unit 17: Housekeeping								
5	Unit 18: Housekeeping Problems								
6	Unit 19: Room Service								
7	Unit 20: Guest Services								
8	Unit 21: In the Business Center								
9	Unit 22: Recommendations for places to eat								
10	Unit 23: Checking Out								
11	Unit 24: Problems in Checking Out								
12	Review by Resouce Bank: Key Phrases, Key Words								
13	Review by Resouce Bank: How do I say . . . ?								
14	Review by Resouce Bank: On the Phone								
15	Review by Resouce Bank: Model Emails								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基	1. 課題 40 %			指定する課題（ロールプレイによる発表を含む）への取り組み状況を評価します					
	2. 授業姿勢 30 %			出欠および授業への参加姿勢を評価します					
	3. テスト 30 %			毎回の授業で行うミニテストの結果を評価します					
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
授業実	テキストの各ユニットのロールプレイが中心ですが、そのほかに、以下の演習を行います。①発音クリニック②簡単な読み物によ								

科目名	TOEIC L&R IA (High)						学期	前	期
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	英語で考え表現する「英語脳」の習慣をつける。また英語での読解力及び発話力を強化する。								
授業内容	英文を読み、自分の考えを英語でまとめる。教科書内の時事問題に関心を持ち、周囲に各話題に関し自分の考えを英語で伝える。								
学習目標	英文を読み理解を深め、自分の考えを発話する。英語を使用する状況に慣れ、自発的に学習した内容を表現する。								
使用テキスト	Pathways 1: Reading, Writing, and Critical Thinking 2nd edition. その他場合によっては講師準備のハンドアウト、資料を使用								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	クラス①：オリエンテーション、講師・生徒の自己紹介、自己紹介の英作文				【事前】	なし			
					【事後】	簡単な英語での自己紹介を行う準備を行う。			
2	クラス①：Unit 1 Reading 1 Preparing to read, Reading 1 クラス②：Unit 1 Understanding the reading				【事前】	Unit 1 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 1を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習			
3	クラス①：Unit 1 Video, Reading 2 Preparing to read クラス②：Unit 1 Reading				【事前】	Unit 1 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 2を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習			
4	クラス①：Unit 2 Explore the theme, Reading 2 Preparing to read, Reading 1 クラス②：Unit 2 Understanding the reading				【事前】	Unit 2 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 1を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習			
5	クラス①：Unit 2 Video, Reading 2 Preparing to read クラス②：Unit 2 Reading				【事前】	Unit 2 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 2を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習			
6	クラス①：Unit 3 Explore the theme, Reading 2 Preparing to read, Reading 1 クラス②：Unit 3 Understanding the reading				【事前】	Unit 3 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 1を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習			
7	クラス①：Unit 3 Video, Reading 2 Preparing to read クラス②：Unit 3 Reading				【事前】	Unit 3 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 2を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習			
8	クラス①：Unit 4 Explore the theme, Reading 2 Preparing to read, Reading 1 クラス②：Unit 4 Understanding the reading				【事前】	Unit 4 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 1を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習 (Unit 1-3),			
9	クラス①：確認テスト① Unit 1-3の解説、Unit 4 Understanding the reading, Reading 2 クラス②：Unit 4 Reading				【事前】	Unit 4 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 2を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習			
10	クラス①：Unit 4 Reading 2, Understanding the reading, Writing クラス②：Unit 5 Understanding the reading				【事前】	Unit 5 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 1を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習 (Unit 1-3),			
11	クラス①：Unit 5 Understanding the reading, Developing reading skills クラス②：Unit 5 Reading				【事前】	Unit 5 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 2を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習			
12	クラス①：Unit 5 Reading 2, Understanding the reading, Writing クラス②：Unit 6 Understanding the reading				【事前】	Unit 6 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 1を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習 (Unit 1-3),			
13	クラス①：Unit 6 Understanding the reading, Developing reading skills クラス②：Unit 6 Reading				【事前】	Unit 6 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 2を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習			
14	クラス①：Unit 6 Reading 2, Understanding the reading, Writing クラス②：全体				【事前】	Unit 6 Preparing to read, Understanding the reading, Reading 2を読む。			
					【事後】	クラス学習内容の復習			
15	クラス①：全体のまとめ クラス②：確認テスト② Unit 4-6				【事前】	Unit 4-6			
					【事後】	なし			
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30	%	自己紹介プレゼンテーション、課題					
	2. 授業姿勢	30	%	積極的な授業参加姿勢がみられるか、クラス内でのルールを遵守しているか（例：出席／欠席、クラス内での発言など）					
	3. テスト他	40	%	ペーパーテスト（確認テスト①②）					
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC Bridge 模擬試験で180満点中100点以上をめざす								

ホテル・ブライダル 学科				2年課程				1 年	
科目名	TOEIC L&R I B (High)						学期	後	期
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	これまでの学習内容を活かし、TOEIC Bridge Testを受験、自身のリスニング、リーディング能力を高める。								
授業内容	TOEIC Bridge Testに特化したカリキュラムを行う。								
学習目標	TOEIC Bridge Testでできるだけ高得点をとる。								
使用テキスト	学校で購入済みのTOEIC Bridge Test対策用テキストを使用。								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	オリエンテーション、学期中のクラスに関する説明、TOEIC Bridge Testの説明	【事前】	なし			【事後】	TOEIC Bridge Testの概要を見ておく。		
		【事後】							
2	模擬テスト①、模擬テスト①答え合わせ	【事前】	なし			【事後】	なし		
		【事後】							
3	TOEIC Bridge Test リスニング①、リーディング①	【事前】	クラス学習内容の復習			【事後】	復習ワークシート（課題）		
		【事後】							
4	TOEIC Bridge Test リスニング②、リーディング②	【事前】	クラス学習内容の復習			【事後】	復習ワークシート（課題）		
		【事後】							
5	模擬テスト②、模擬テスト②答え合わせ	【事前】	クラス学習内容の復習			【事後】	復習ワークシート（課題）		
		【事後】							
6	TOEIC Bridge Test リスニング③、リーディング③	【事前】	クラス学習内容の復習			【事後】	復習ワークシート（課題）		
		【事後】							
7	TOEIC Bridge Test リスニング④、リーディング④	【事前】	クラス学習内容の復習			【事後】	復習ワークシート（課題）		
		【事後】							
8	模擬テスト③、模擬テスト③答え合わせ	【事前】	クラス学習内容の復習			【事後】	復習ワークシート（課題）		
		【事後】							
9	TOEIC Bridge Test リスニング⑤、リーディング⑤	【事前】	クラス学習内容の復習			【事後】	復習ワークシート（課題）		
		【事後】							
10	TOEIC Bridge Test リスニング⑥、リーディング⑥	【事前】	クラス学習内容の復習			【事後】	復習ワークシート（課題）		
		【事後】							
11	模擬テスト④、模擬テスト④答え合わせ	【事前】	クラス学習内容の復習			【事後】	復習ワークシート（課題）		
		【事後】							
12	TOEIC Bridge Test リスニング⑦、リーディング⑦	【事前】	クラス学習内容の復習			【事後】	復習ワークシート（課題）		
		【事後】							
13	TOEIC Bridge Test リスニング⑧、リーディング⑧	【事前】	クラス学習内容の復習			【事後】	復習ワークシート（課題）		
		【事後】							
14	模擬テスト⑤、模擬テスト⑤答え合わせ、テストまとめ	【事前】	クラス学習内容の復習			【事後】	復習ワークシート（課題）		
		【事後】							
15	TOEIC Bridge Test 本テスト	【事前】	テスト対策学習			【事後】	なし		
		【事後】							
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30	%	課題（復習ワークシート）					
	2. 授業姿勢	30	%	積極的な授業参加姿勢の有無、クラス内でのルールを遵守しているか（例：出席／欠席、クラス内での授業規律の遵守）					
	3. テスト他	40	%	模擬テスト、本テスト					
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC Bridge 模擬試験で180満点中120点以上をめざす								

ホテル・ブライダル 学科				2年課程				2 年	
科目名	TOEIC L&R IIA (High)						学期	前	期
担当教員	須加 光	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	リスニング、スピーキングの強化を目指し、英語で聞き、話す基礎を身に着ける。個人でプレゼンテーションを行う。								
授業内容	リスニング、スピーキングに特化し、自分の意見を相手に英語で伝えられるようプレゼンテーションのやり方も学習する。								
学習目標	前年度に引き続き、自分の考えを英語で考え表現する「英語脳」の基礎を作る。英語で考え発言するクリティカルシンキングの基礎を身に着ける。								
使用テキスト	Blass, Laurie and Mari Vargo, 2018. Pathways 2: Listening, Speaking and Critical Thinking (2nd Ed). HEINLE Cengage Learning. その他場合によっては講師準備のハンドアウト、資料を使用								
週数	授業計画				事前・事後の学習				
1	オリエンテーション、講師・生徒の自己紹介	【事前】	なし			【事後】	教科書の内容の把握		
		【事後】				【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習		
2	(1) Healthy lives	【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習			【事後】	教科書の課題		
		【事後】				【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習		
3	(2) Technology today and tomorrow	【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習			【事後】	教科書の課題		
		【事後】				【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習		
4	(3) Culture and tradition	【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習			【事後】	教科書の課題		
		【事後】				【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習		
5	(4) A thirsty world	【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習			【事後】	教科書の課題		
		【事後】				【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習		
6	(5) Inside the brain	【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習			【事後】	教科書の課題		
		【事後】				【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習		
7	(6) Let's eat!	【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習			【事後】	教科書の課題		
		【事後】				【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習		
8	スピーキングテスト及びプレゼンテーションの課題発表、準備の仕方	【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習			【事後】	教科書の課題		
		【事後】				【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習		
9	(7) Our active earth プレゼンテーションの仕方①	【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習			【事後】	教科書の課題		
		【事後】				【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習		
10	(8) Wonders from the past プレゼンテーションの仕方②	【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習			【事後】	教科書の課題		
		【事後】				【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習		
11	(9) Species survival プレゼンテーションの仕方③	【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習			【事後】	教科書の課題		
		【事後】				【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習		
12	(10) Enterpreners and innovators プレゼンテーションの仕方④	【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習			【事後】	教科書の課題		
		【事後】				【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習		
13	プレゼンテーションの行い方⑤	【事前】	教科書の内容の把握、クラス学習内容の復習			【事後】	プレゼンテーションの準備		
		【事後】				【事前】	プレゼンテーションの準備		
14	プレゼンテーション リハーサル、プレゼンテーション原稿提出	【事前】	プレゼンテーションの準備			【事後】	プレゼンテーションの準備		
		【事後】				【事前】	プレゼンテーション、テストの準備		
15	グループプレゼンテーション発表、まとめ	【事前】	プレゼンテーション、テストの準備			【事後】			
		【事後】							
評価項目/割合		評価内容							
評価	1. 課題	30	%	個人プレゼンテーション、課題					
	2. 授業姿勢	30	%	積極的な授業参加姿勢がみられるか、クラス内でのルールを遵守しているか（例：出席/欠席、クラス内での授業規律の					
	3. テストその他	40	%	スピーキングテスト、ミニテスト					
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	TOEIC Bridge 模擬テストで180点満点中140点以上をめざす								

科目名	サービス接客 I A						学期	前 期	
担当教員	高野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接客の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接客の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接客の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接客検定受験ガイド3級 サービス接客検定受験ガイド2級 サービス接客検定実問題集3級 サービス接客検定実問題集1-2級								
週数	授業計画								
1	3級学習 サービススタッフの資質 ① (必要とされる要件ほか)								
2	3級学習 サービススタッフの資質 ② (従業要件ほか)								
3	3級学習 専門知識 ① (サービスの知識ほか)								
4	3級学習 専門知識 ② (従業知識ほか)								
5	3級学習 一般知識 (社会常識ほか)								
6	3級学習 対人技能 ① (人間関係ほか)								
7	3級学習 対人技能 ② (接客知識ほか)								
8	3級学習 対人技能 ③ (話し方ほか)								
9	3級学習 対人技能 ④ (服装ほか)								
10	3級学習 実務技能 ① (問題処理ほか)								
11	3級学習 実務技能 ② (環境整備ほか)								
12	3級学習 実務技能 ③ (金品管理ほか)								
13	3級学習 実務技能 ④ (社交業務ほか)								
14	2級学習 サービススタッフの資質 前半 (必要とされる要件ほか)								
15	2級学習 サービススタッフの資質 後半 (従業要件ほか)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30%			演習課題の取り組み姿勢					
	2. 授業姿勢 30%			出席状況・授業態度・言葉遣い					
	3. テスト等 40%			実技試験と期末試験の総合判定					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定	サービス接客検定 6月 検定目標3級合格								

科目名	サービス接遇 I B						学期	後 期	
担当教員	高野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド2級 サービス接遇検定実問題集1-2級								
週数	授業計画								
1	2級学習 専門知識 ① (サービ知識ほか)								
2	2級学習 専門知識 ② (従業知識ほか)								
3	2級学習 一般知識 (社会常識ほか)								
4	2級学習 対人技能 ① (人間関係ほか)								
5	2級学習 対人技能 ② (接遇知識ほか)								
6	2級学習 対人技能 ③ (話し方ほか)								
7	2級学習 対人技能 ④ (服装ほか)								
8	2級学習 実務技能 ① (問題処理ほか)								
9	2級学習 実務技能 ② (環境整備ほか)								
10	2級学習 実務技能 ③ (金品管理ほか)								
11	2級学習 実務技能 ④ (金品搬送ほか)								
12	2級学習 実務技能 ⑤ (社交業務ほか)								
13	準1級 基本言動 ① (入室ほか)								
14	準1級 基本言動 ② (企業連携)								
15	準1級 基本言動 ③ (企業連携)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30 %			演習課題の取り組み姿勢					
	2. 授業姿勢 30 %			出席状況・授業態度・言葉遣い					
	3. テスト等 40 %			実技試験と期末試験の総合判定					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定	サービス接遇検定 11月検定目標2級合格								

科目名	サービス接遇ⅡA						学期	前 期	
担当教員	高野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界に必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界に必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド準1級級 サービス接遇検定受験ガイド1級 サービス接遇検定実問題集1-2								
週数	授業計画								
1	準1級 接客応答								
2	準1級 接客応答								
3	準1級 接客応答								
4	準1級 接客対応								
5	準1級 接客対応								
6	準1級検定対策総仕上げ								
7	1級 サービススタッフの資質								
8	1級 専門知識 (サービス知識)								
9	1級 専門知識 (従業知識)								
10	1級 一般知識 (社会常識)								
11	1級 対人技能 (人間関係ほか)								
12	1級 対人技能 (接遇知識ほか)								
13	1級 実務技能 ① (問題処理ほか)								
14	1級 実務技能 ④ (金品搬送ほか)								
15	1級検定対策講義								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30%			演習課題の取り組み姿勢					
	2. 授業姿勢 30%			出席状況・授業態度・言葉遣い					
	3. テスト等 40%			実技試験と期末試験の総合判定					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定	サービス接遇検定 6月 検定目標 1級合格								

科目名	フラワーアレンジメントⅡA						学期	前 期	
担当教員	井波 裕美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	婚礼に必要な知識としてブライダルシーンでのフラワーアレンジやブーケの基本テクニックを習得する								
授業内容	フラワーアレンジメントの歴史や基本的な技法を知りブライダルシーンでのアレンジやブーケを製作								
学習目標	様々な花の種類に合ったアレンジができるようになる								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	ファンデーションワークとミニブーケ（生花）								
2	ファンデーションワークとミニブーケ（生花）								
3	ラウンドアレンジ（生花）								
4	ラウンドアレンジ（生花）								
5	ラウンドアレンジ（プリザ）								
6	ラウンドアレンジ（プリザ）								
7	ワイヤリング&テーピング コサージュ作り（生花）								
8	ワイヤリング&テーピング コサージュ作り（生花）								
9	ラウンド花束・スパイラル（生花）								
10	ラウンド花束・スパイラル（生花）								
11	ギフトアレンジ BOXフラワー（生花）								
12	ギフトアレンジ BOXフラワー（生花）								
13	キャンドルフラワー（生花）								
14	キャンドルフラワー（生花）								
15	パーティーフラワー（生花）								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30%								
	2. 授業姿勢 30%								
	3. テスト等 40%								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実 施予定									

科目名	ブライダルビューティ I A						学期	前 期	
担当教員	宮西 和孝	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	基本的テクニックを身に学習する								
授業内容	道具の使い方について学ぶ								
学習目標	基本的テクニックを実際に体験し理解する								
使用テキスト	必要に応じてプリント配布								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション 道具の確認								
2	道具の使い方 ① アイロン								
3	道具の使い方 ② ブラシ・ピン・ゴム								
4	基本練習 ① ポニーテール								
5	基本練習 ② ポンパドール								
6	基本練習 ③ 編み込み								
7	基本練習 ④ 付け毛								
8	スタイル作り ① シニヨン								
9	スタイル作り ② トップ								
10	スタイル作り ③ サイド								
11	スタイル作り ④ バック								
12	ブライダルスタイル ①								
13	ブライダルスタイル ②								
14	ブライダルスタイル ③								
15	実技試験								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 40 %			課題の提出、出来栄					
	2. 授業姿勢 30 %			忘れ物の状態 受講態度 出席率					
	3. テスト等 30 %			理解度					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実 施予定									

科目名	ブライダルビューティIB						学期	後	期
担当教員	高桑 裕美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	メイクの基礎を学習する								
授業内容	メイクの知識と技術を学ぶ								
学習目標	メイクの楽しさを実感し、メイクの必要性を理解する								
使用テキスト	プリント配布								
週数	授業計画								
1	メイクの基礎知識								
2	顔の造形理論								
3	アイブロウスタイリング								
4	ベースメーキャップ基本								
5	ベースメーキャップ応用								
6	ポイントメーキャップの基本・応用								
7	相モデルでメーキャップ練習① ナチュラル								
8	相モデルでメーキャップ練習② ナチュラル								
9	相モデルでメーキャップ練習③ キュート								
10	相モデルでメーキャップ練習④ キュート								
11	相モデルでメーキャップ練習⑤ クール								
12	相モデルでメーキャップ練習⑥ クール								
13	確認テスト								
14	イメージメイク作り①								
15	イメージメイク作り②								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30%								
	2. 授業姿勢 30%								
	3. テスト等 40%								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定									

科目名	ICT活用 I A						学期	後 期	
担当教員	南 貴文	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目的とする。								
授業内容	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方、訴え方などプレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける								
学習目標	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目標とする。								
使用テキスト	30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2016 (Windows10対応)								
週数	授業計画								
1	プレゼンテーションとは？								
2	プレゼンテーションの基本 (パワーポイントの基本)								
3	プレゼンテーションの基本 (効果的なプレゼンテーション資料作成 図・グラフ・アニメーション/テキスト)								
4	個人発表課題 □ テーマを考える (時間、目的、聞き手) □ 素材を集める (自分の言いたいことを裏付ける、聞き手を								
5	個人発表課題 パワーポイント制作①								
6	個人発表課題 パワーポイント制作②								
7	2年生の実習報告会① (聴く、考える、質問する)								
8	2年生の実習報告会② (聴く、考える、質問する)								
9	個人発表課題 発表								
10	グループ発表課題□ テーマを考える (時間、目的、聞き手) □ 素材を集める (自分の言いたいことを裏付ける、聞き手								
11	グループ発表課題 パワーポイント制作①								
12	グループ発表課題 パワーポイント制作②								
13	グループ発表課題 発表								
14	プレゼンテーションの事例・テンプレート①								
15	プレゼンテーションの事例・テンプレート② まとめ								
	評価項目/割合			評 価 内 容					
評 価 基 準	1. 課 題 40 %			・授業内課題の提出□宿題課題の提出 (期限までの提出状況)					
	2. 授業姿勢 30 %			・授業への参加状況 (出席や受講態度、忘れ物および積極的な取組み度)					
	3. テストそ(30 %			・期末試験結果□課題の達成度					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実 施予定									

科目名	ICT活用ⅡA						学期	前 期	
担当教員	南 貴文	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目的とする。								
授業内容	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方、訴え方などプレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける								
学習目標	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目標とする。								
使用テキスト	30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2016 (Windows10対応)								
週数	授業計画								
1	1、3分間のプレゼンテーション								
2	個人企画提案書制作①□ テーマを考える（時間、目的、聞き手） □ 素材を集める（自分の言いたいことを裏付ける、								
3	個人企画提案書制作②								
4	個人企画提案書 発表								
5	グループ発表課題 パワーポイント制作① □ テーマを考える（時間、目的、聞き手） □ 素材を集める（自分の言いたい								
6	グループ発表課題 パワーポイント制作②								
7	グループ発表課題 発表								
8	グループ企画提案書制作①□ テーマを考える（時間、目的、聞き手） □ 素材を集める（自分の言いたいことを裏付け								
9	グループ企画提案書制作②								
10	グループ企画提案書制作③								
11	グループ企画提案書 発表								
12	1、3分間のプレゼンテーション								
13	プレゼンテーションの事例・テンプレート①								
14	プレゼンテーションの事例・テンプレート②、まとめ								
15	オリジナルチラシ、DM作成								
	評価項目/割合			評 価 内 容					
評 価 基 準	1. 課 題 40 %			・授業内課題の提出□宿題課題の提出（期限までの提出状況）					
	2. 授業姿勢 30 %			・授業への参加状況（出席や受講態度、忘れ物および積極的な取組み度）					
	3. テストそ(30 %			・期末試験結果□課題の達成度					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実 施予定									

科目名	ICT演習 I A						学期	前 期	
担当教員	南 貴文	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企業においてITを活用する実践的な知識・スキルを学習する。								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。								
使用テキスト	全学科：30時間でマスター Excel 2013 (Windows8対応) インターナショナルを除く学科：日商PC検定試験 データ活用 3級 公式テキスト&問題集 Microsoft Excel 2013対応 日商PC検定試験 知識科目 3級 公式試験問題集 (文書作成・データ活用・プレゼン資料作成)								
週数	授業計画								
1	第1章Excelの基礎知識								
2	第2章Excel入門								
3	第3章ワークシートの活用 (1)								
4	第3章ワークシートの活用 (1)								
5	第3章ワークシートの活用 (1)								
6	第4章ワークシートの活用 (2) セルの絶対参照								
7	第4章ワークシートの活用 (2) セルの絶対参照								
8	第4章ワークシートの活用 (2) 端数処理								
9	第4章ワークシートの活用 (2) 端数処理								
10	第4章ワークシートの活用 (2) IF関数								
11	第4章ワークシートの活用 (2) IF関数								
12	第5章グラフ (1)								
13	第5章グラフ (2) 複合グラフ								
14	第7章データベース オートフィルタ・並べ替え								
15	第7章データベース オートフィルタ・並べ替え								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 40 %			各授業における課題提出 (期限厳守) □確認テスト結果					
	2. 授業姿勢 30 %			授業への積極参加 クラスへの協力度□教科書、パソコンその他忘れ物の有無					
	3. テスト等 30 %			検定を受験する学科は検定結果□受験しない学科はテスト結果					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定									

科目名	ICT演習 I B						学期	後 期	
担当教員	南 貴文	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企業においてITを活用する実践的な知識・スキルを学習する。								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。								
使用テキスト	<small>主テキスト：30時間でマスター Excel 2013 (Windows8対応) イブニングブライダルを際く主テキスト：日商PC検定試験 活用 3級 公式テキスト&問題集 Microsoft Excel 2013対応 日商PC検定試験 知識科目 3級 公式試験問題集 (文書作成・データ活用・プレゼン資料作成)</small>								
週数	授業計画								
1	日商PC検定対策								
2	日商PC検定対策								
3	日商PC検定対策								
4	日商PC検定対策								
5	日商PC検定対策								
6	日商PC検定対策								
7	日商PC検定対策								
8	日商PC検定対策								
9	日商PC検定対策								
10	日商PC検定対策								
11	日商PC検定対策								
12	日商PC検定対策								
13	日商PC検定対策								
14	日商PC検定対策								
15	日商PC検定対策								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 40 %			授業中に取り組む課題 (入力、文書作成の作成物、作成取り組み状況) 宿題課題					
	2. 授業姿勢 30 %			①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。					
	3. テスト等 30 %			確認小テスト結果 期末テスト結果					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定									

科目名	異文化コミュニケーションIA						学期	前	期
担当教員	松島 綾子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	インバウンドに必要なコミュニケーション能力の向上と異文化の理解を目的とする								
授業内容	国際ビジネス学科との合同の時間を取り入れ、グループディスカッションを通し、多様な文化の理解やコミュニケーション方法を学ぶ。								
学習目標	異文化コミュニケーションの基礎知識を理解し、言語や文化の異なる人々とコミュニケーションが図れるようになる								
使用テキスト	プリント								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション 異文化コミュニケーションとは セルフチェックを通してコミュニケーションや異文化理解について学ぶ								
2	コミュニケーション・スタイル パラ言語について 洋画やアジア映画の吹き替えと原語の違いを比較								
3	他国の言語と文化について学ぶ 国際ビジネス学科の学生の出身国の言語を調べる								
4	他国の言語と文化について学ぶ② 国際ビジネス学科の学生の出身国の言語を調べる								
5	異文化シミュレーション① バーンガ、パファパファのゲームを通し、異文化トレーニングを行う								
6	異文化シミュレーション② エコトノス、アルパトロスのシミュレーションを通し、異文化トレーニングを行う								
7	言語コミュニケーション それぞれの国の褒め方、叱り方、謝り方について								
8	非言語コミュニケーション 表情、アイコンタクト、ジェスチャーについて								
9	他国の文化理解 国際ビジネス学科の学生の出身国について調べ、まとめる 質問を考える								
10	他国の文化理解 国際ビジネス学科の学生の出身国について調べ、まとめる 質問を考える								
11	他国の文化理解（国際ビジネス学科と合同） 調べた内容をその国の学生に伝える。質疑応答。								
12	他国の文化理解 国際ビジネス学科の学生の出身国の結婚式について調べる、まとめる 質問を考える								
13	他国の文化理解（国際ビジネス学科と合同） 調べた内容をその国の学生に伝える。質疑応答。								
14	模擬結婚式 国際ビジネス学科の学生に向けて結婚式をおこなう								
15	模擬結婚式の振り返り まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30%	授業内の課題の取組み						
	2. 授業姿勢	30%	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	40%	発表内容、総括記録、各自実施レポート						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ									

科目名	ホテルブライダルマーケティング I B						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあつた的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とする								
授業内容	ワークを通して観光業のマーケティングの意味や種類、考え方を学ぶ								
学習目標	マーケティングに関する用語や概念を身に付け、新たな観光プランの創出を行う								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	マーケティングとは屈動の種類や効果について								
2	観光業におけるマーケティングとは何か								
3	観光業におけるSWOT分析								
4	観光業におけるSWOT分析								
5	観光業におけるSWOT分析								
6	観光業におけるSTPマーケティング								
7	観光業における4P(観光地や観光コース、イベント)								
8	観光業における4C(観光地や観光コース、イベント)								
9	観光業をマーケティングの理論に基づき分析								
10	外国人観光客について由要国の国の特徴や観光動向について(食文化、生活習慣、言語、国民性、経済、宗教)								
11	外国人観光客について由要国の国の特徴や観光動向について(食文化、生活習慣、言語、国民性、経済、宗教)								
12	富山県を訪れる外国人に好まれる観光プラン作成								
13	イノベーションとは								
14	インバウンド対策を考えた観光プランの作成とコース分析								
15	観光プランのプレゼンテーション								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30%			授業内の課題の取組み					
	2. 授業姿勢 30%			①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。					
	3. テスト(40%)			発表内容、総括記録、各自実施レポート					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定									

科目名	ホテルブライダルマーケティングⅡA						学期	前期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあつた的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とする								
授業内容	ワークを通して観光マーケティングの意味や種類、考え方を学ぶ								
学習目標	マーケティングに関する用語や概念を身に付け、新たな観光プランの創出を行う								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	富山県の観光地の再体験								
2	富山県の観光地の再体験								
3	富山県とバンクーバーの違いについて (客層・STP・4P・4C)								
4	富山県とバンクーバーの違いについて (商品アイデア・方法)								
5	富山県とバンクーバーの違いについて (食・生活週間・言語・国民性・経済・宗教)								
6	富山県とバンクーバーの違いについて (歴史・特産品・伝統・行事・宿泊施設・SNS活用)								
7	富山県とバンクーバーの違いについて ビジネスモデル(商流・キーマン)								
8	富山県の観光に関する課題と分析								
9	1年前期に作成した観光プランの再構築								
10	SWOT分析チェック								
11	商品・サービス差別化								
12	観光プランを英語でプレゼンテーション								
13	観光プランを英語でプレゼンテーション								
14	プレゼンテーション発表								
15	プレゼンテーション振り返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30%			授業内の課題の取組み					
	2. 授業姿勢 30%			①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。					
	3. テスト等 40%			発表内容、総括記録、各自実施レポート					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定									

科目名	富山学 I A						学期	前 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあつた的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とする								
授業内容	フィールドワークと分析を繰り返し、知識の定着を図る								
学習目標	富山県の観光地を歴史や特産品、伝統行事などを説明できるようになる								
使用テキスト	オリジナルテキスト								
週数	授業計画								
1	富山県の歴史（社会）								
2	富山県の歴史（政治）								
3	富山県の歴史（経済）								
4	富山県の歴史（文化）								
5	富山県の歴史（産業・人口）								
6	富山県の特産品								
7	富山県伝統行事								
8	観光データ観光入込数やインバウンド数など他県との違いについて								
9	富山県の宿泊施設（ホテル・旅館・民宿）								
10	富山県の宿泊施設（ホテル・旅館・民宿）の課題と解決策								
11	富山県観光業のSNS活用状況について								
12	富山県の主な観光地や観光モデルコースについて								
13	富山県の主な観光地や観光モデルコースについて								
14	富山県の主な観光地や観光モデルコースについて								
15	独自の観光モデルコースを提案								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30 %			授業内の課題の取組み					
	2. 授業姿勢 30 %			①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。					
	3. テスト等 40 %			発表内容、総括記録、各自実施レポート					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定									

科目名	色彩 I A						学期	前 期	
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	基本的な色彩理論を学習する								
授業内容	求められるカラーコーディネートとはどういうものを学ぶ								
学習目標	色彩とは何か、応用的な理解ができ、実践に活かせる力をつける								
使用テキスト	色彩検定 3 級テキスト、色彩検定 3 級問題集、色彩検定過去問題集								
週数	授業計画								
1	自己紹介、カラーカードを貼る								
2	自己紹介、カラーカードを貼る								
3	カラーカードを貼る								
4	カラーカードを貼る								
5	カラーカードを貼る								
6	色のはたらき								
7	色のはたらき								
8	光と色								
9	光と色								
10	眼のしくみ								
11	眼のしくみ								
12	混色								
13	混色								
14	色の三属性								
15	色の三属性								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 50 %			レポート、小テスト結果等を評価する					
	2. 授業姿勢 30 %			授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する					
	3. テスト等 20 %			期末テスト結果を評価する					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定	AFT色彩検定 3 級進捗状況により変更する場合があります。								

科目名	色彩 I B						学期	後 期	
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	基本的な色彩理論を学習する								
授業内容	求められるカラーコーディネートとはどういうものを学ぶ								
学習目標	色彩とは何か、応用的な理解ができ、実践に活かせる力をつける								
使用テキスト	色彩検定 3 級テキスト、色彩検定3級問題集、色彩検定過去問題集								
週数	授業計画								
1	PCCSの理解と色彩調和								
2	PCCSの理解と色彩調和								
3	色彩心理								
4	色彩心理								
5	配色イメージ								
6	配色イメージ								
7	ファッションと色彩								
8	ファッションと色彩								
9	インテリアと色彩								
10	インテリアと色彩								
11	慣用色名								
12	慣用色名								
13	検定に向けての学習								
14	検定に向けての学習								
15	検定に向けての学習								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 50 %			レポート、小テスト結果等を評価する					
	2. 授業姿勢 30 %			授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する					
	3. テスト等 20 %			期末テスト結果を評価する					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定	AFT色彩検定 3 級進捗状況により変更する場合があります。								

科目名	ウエディングスビューティフルIA					学期	前期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修
				単位数	1		
学習目的	ウエディング業界に必要な婚礼の専門知識と心得を学習する						
授業内容	ウエディング業界で働くために必要なメンタルパワーや婚礼の歴史、慣習を学ぶ						
学習目標	ウエディングの現場に必要な専門知識やマナーを理解する						
使用テキスト	ウエディングスビューティフルAコース～Dコース						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
1	第1章 ビジネスプランの展開 挙式						
2	第2章 ビジネスプランの展開 挙式						
3	第2章 メンタルパワー 目標設定の大切さ						
4	第2章 メンタルパワー 成功の可能性を広げる						
5	第3章 結婚式の専門的知識 プランナーの役割						
6	第3章 結婚式の専門的知識						
7	第4章 コミュニケーションスキルの向上						
8	第4章 効果的な話し方						
9	第5章 結婚式の慣習						
10	第5章 まとめ レポート						
11	第6章 本当の自分 自己分析 肯定的な性質と否定的な性質						
12	第6章 本当の自分 自己分析 他者から見た自分						
13	第7章 テーブルトップとテーブルウェア						
14	第8章 テーブルトップとテーブルウェア						
15	まとめ						
	評価項目/割合		評価内容				
評価基準	1. 課題	50%	まとめ レポート 課題				
	2. 授業姿勢	30%	出席状況・授業態度・言葉づかい				
	3. テストその他	20%	理解度確認テスト				
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
目標検定・課外授業実施予定・その他	WBW認定ウエディングスペシャリストディプロマ						

科目名	ウエディングスビューティフル I B					学期	後 期
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修
						単位数	1
学習目的	ウエディング業界に必要な婚礼の専門知識と心得を学習する						
授業内容	ウエディング業界で働くために必要なメンタルパワーや婚礼の歴史、慣習を学ぶ						
学習目標	ウエディングの現場に必要な専門知識やマナーを理解する						
使用テキスト	ウエディングスビューティフルAコース～Dコース						
週数	授業計画				事前・事後の学習		
1	8章 挙式						
2	8章 挙式						
3	9章 結婚式の演出						
4	10章 結婚式の演出						
5	10章 結婚式の伝統や慣習						
6	11章 結婚式の伝統や慣習						
7	11章 マネジメントスキルの向上						
8	12章 マネジメントスキルの向上						
9	12章 ビジネスフォーム						
10	13章 ウエディングファッション						
11	14章 ウエディングファッション						
12	14章 披露宴						
13	15章 披露宴						
14	15章 招待状						
15	まとめ						
	評価項目/割合			評価内容			
評価基準	1. 課題	50 %	まとめ レポート 課題				
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況・授業態度・言葉づかい				
	3. テストその他	20 %	理解度確認テスト				
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
目標検定・課外授業実施予定・その他							

科目名	NIB I A						学期	前	期
担当教員	長谷川 万葉 木村 聡 黒田 哲也	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	メディアに対する知識理解を深め、情報を読み取る力を高める。地域社会の課題を学ぶとともに、読解力、思考力、プレゼンテーション能力、グループ討議力や社会性、創造性、国際性を身につける。								
授業内容	新聞記事からテーマを抽出し、書かれている内容をもとに自分の考えを深め、文章にまとめて発表する								
学習目標	自分の考えを整理し、わかりやすく伝えることが出来る。言葉や文章で簡潔に要点を伝えることができる。資料を調べたり人の意見を聞いたりし、問題発見、解決ができる。								
使用テキスト	新聞を教材として使用								
週数	授業計画								
1	メディア論①メディアの特性を学び活用する								
2	メディア論②新聞の読み方。グループスクラップ								
3	メディア論③文章の要約、見出し付けで読解力アップ								
4	メディア論④文章力アップ、小論文の書き方								
5	ご当地検定に挑戦								
6	地域の課題を学び 意見交換、発表①								
7	地域の課題を学び 意見交換、発表②								
8	地域の課題を学び 意見交換、発表③								
9	地域の課題を学び 意見交換、発表④								
10	ミニ新聞を作ろう								
11	18歳選挙権を考える								
12	若者の投票率を考える								
13	1分間スピーチ、ミニディベート								
14	グループディスカッション								
15	グループ単位によるプレゼンテーション								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出物						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率・積極的なコミュニケーションが出来る。						
	3. テストその他	40 %	発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	NIB II A						学期	前	期
担当教員	長谷川 万葉	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	新聞を通し、地域の知識を学ぶとともに、読解力、思考力、プレゼンテーション能力、グループ討議力や社会性、創造性、国際性を身につける。								
授業内容	新聞記事よりテーマを抽出し、書かれている内容と自分の考えとあわせ、文章を作成し、発表する								
学習目標	自分の考えを整理し、わかりやすく伝えることができる。言葉や文章で簡潔に要点を伝えることができる。資料を調べたり人の意見を聞いたりし、問題発見、解決ができる。								
使用テキスト	新聞を教材として使用								
週数	授業計画								
1	メディア論 ① 読解力								
2	メディア論 ② コミュニケーション力								
3	メディア論 ③ プレゼンテーションの仕方、文章の書き方								
4	地域の課題解決策を考える①								
5	地域の課題解決策を考える②								
6	地域の課題解決策を考える③								
7	地域の課題解決策を考える④								
8	地域の課題解決策を考える⑤								
9	グループディスカッション								
10	グループディスカッション								
11	グループディスカッション								
12	グループディスカッション								
13	プレゼンテーション								
14	プレゼンテーション								
15	プレゼンテーション								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	30 %	提出物						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率・積極的なコミュニケーションが出来る。						
	3. テストその他	40 %	発表						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	表現力 I A					学期	前 期
担当教員	長谷川万葉	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	選択必修
学習目的	学習を通して、相手に伝わる表現力を養う。人前で堂々と発表できるようになる。人と対話できるようになる。						
授業内容	歌唱、ダンス、演劇、といった様々な表現を楽しく学ぶ。ストレッチ、呼吸、滑舌、発声等、基礎から実践的に学習し、最終的には発表を目指す。						
学習目標	学習を通して、明るい表情、正しい姿勢、相手に伝わる声、開かれた心など、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体をつくる。他者との関わりの中でコミュニケーション能力を高める。自由な発想力や表現力、人前で堂々と発表できるような素地をつくる。						
使用テキスト	オリジナルテキスト、楽譜等(授業内容に合わせて、適宜配布。)						
週数	授業計画						
1	イントロダクション～自己紹介、授業内容の説明。						
2	シアターゲームとコミュニケーショントレーニング						
3	ダンス① 身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらぬ表現の世界、体を使ったコミュニケーションを体感する。						
4	ダンス② 身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらぬ表現の世界、体を使ったコミュニケーションを体感する。						
5	ダンス③ 身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらぬ表現の世界、体を使ったコミュニケーションを体感する。						
6	演劇① 演劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇)やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。						
7	演劇② 演劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇)やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。						
8	演劇③ 演劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇)やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。						
9	中間発表						
10	ソング① 歌と音楽を楽しむ。声の表現を学ぶ。						
11	ソング② 歌と音楽を楽しむ。声の表現を学ぶ。						
12	対話① 対話を学ぶ。他者と関わる。						
13	対話② 対話を学ぶ。他者と関わる。						
14	グループ発表						
15	発表						
	評価項目/割合		評価内容				
評価基準	1. 課題	30 %	実技課題への積極的な取り組み、課題提出状況。				
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻 ②挨拶・受講態度 ③前向きに挑戦する姿勢 ④授業への積極的、協力的な参加 ⑤忘れ物がないか以上の観点から評価する。				
	3. テストその他	40 %	個人発表、グループ発表等。発表の出来、そこに至るまでの過程、取り組み姿勢を総合的に判断する。				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合あり。						

科目名	表現力ⅡA						学期	後 期
担当教員	長谷川 万葉	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	単位数	1
学習目的	学習を通して、相手に伝わる表現力を養う。人前で堂々と発表できるようになる。人と協力して創作を行う。							
授業内容	歌唱、ダンス、演劇、といった様々な表現を楽しく学ぶ。ストレッチ、呼吸、滑舌、発声等、基礎から実践的に学習し、最終的にはグループで創作、発表を目指す。							
学習目標	学習を通して、明るい表情、正しい姿勢、相手に伝わる声、開かれた心など、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体をつくる。他者との関わりの中でコミュニケーション能力を高める。自由な発想力や表現力、人前で堂々と発表できるような素地をつくる。							
使用テキスト	オリジナルテキスト、楽譜等(授業内容に合わせて、適宜配布。)							
週数	授業計画							
1	イントロダクション～自己紹介、授業内容の説明。							
2	シアターゲームとコミュニケーショントレーニング							
3	ダンス① 身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらない表現の世界、体を使ったコミュニケーションを体感する。							
4	ダンス② 身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらない表現の世界、体を使ったコミュニケーションを体感する。							
5	ダンス③ 身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらない表現の世界、体を使ったコミュニケーションを体感する。							
6	演劇① 演劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇)やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。							
7	演劇② 演劇で遊ぶ。インプロ(即興演劇)やシアターゲームを体験する。相手に伝わる表現を学ぶ。							
8	中間発表							
9	ソング 歌と音楽を楽しむ。声の表現を学ぶ。							
10	創作① 演劇やミュージカルのワンシーンを実際に創作し演じてみる。							
11	創作② 演劇やミュージカルのワンシーンを実際に創作し演じてみる。							
12	創作③ 演劇やミュージカルのワンシーンを実際に創作し演じてみる。							
13	創作④ 演劇やミュージカルのワンシーンを実際に創作し演じてみる。							
14	グループ発表							
15	発表							
	評価項目/割合			評 価 内 容				
評価基準	1. 課題	30 %	実技課題への積極的な取り組み、課題提出状況。					
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻 ②挨拶・受講態度 ③前向きに挑戦する姿勢 ④授業への積極的、協力的な参加 ⑤忘れ物がないか以上の観点から評価する。					
	3. テストその他	40 %	個人発表、グループ発表等。発表の出来、そこに至るまでの過程、取り組み姿勢を総合的に判断する。					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合あり。							

科目名	キャリア支援IA						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	就職活動で早期内定を獲得できるよう、自己分析や企業研究などの準備をすすめる								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	1年次の終わりまでに、自己分析・企業研究を完成させ、2年次からの説明会参加や企業訪問に備える								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	インターンシップとは								
2	インターンシップの課題と種類								
3	自発的なインターンシップ								
4	「働く」意味を考える								
5	「働く」意味を考える								
6	仕事の要素								
7	社会人基礎力								
8	社会人基礎力								
9	業界研究								
10	業界研究								
11	業界研究								
12	履歴書作成								
13	履歴書作成								
14	エントリー対策								
15	エントリー対策								
	評価項目/割合			評 価 内 容					
評価基準	1. 課 題 70 %			実習先からの評価をもとに算出					
	2. 授業姿勢 30 %			出席率などから算出					
	3. テストそ 0 %								
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課 外授業									

科目名	キャリア支援ⅡA						学期	前期	
担当教員	高野 直人	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	就職活動で早期内定を獲得できるよう、自己分析や企業研究などの準備をすすめる								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	1年次の終わりまでに、自己分析・企業研究を完成させ、2年次からの説明会参加や企業訪問に備える								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	ビジネスマナー(会社訪問)								
2	ビジネスマナー(会社訪問)								
3	面接指導								
4	面接指導								
5	面接指導								
6	面接指導								
7	面接指導								
8	キャリアについて								
9	ビジネスとコミュニケーション 会話								
10	ビジネスとコミュニケーション クレーム処理								
11	ビジネスとコミュニケーション 会議								
12	ビジネスとコミュニケーション 電話対応								
13	ビジネスとコミュニケーション 電話対応								
14	実践とビジネスツール ビジネス文書								
15	実践とビジネスツール ビジネス文書								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	実習先からの評価をもとに算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率などから算出						
	3. テストその	0 %							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ									

科目名	データマーケティング IA							学期	前	期
担当教員	清水 大樹	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。									
授業内容	ビッグデータの分析や活用方法をPOSデータやドルフィンアイ、RESASなどを用いて学ぶ。									
学習目標	マーケティングの基礎知識を習得し、専門用語が理解できる。基本的手法や技法を、具体的事例に当て嵌めて考えることができる。									
使用テキスト	データマーケター養成講座 初級編									
週数	授業計画									
1	オリエンテーション ・講座の進め方と受講の心構えについて ・講座の目的とゴール（販売業を機軸にDMの基本を学ぶ） ・用語の説明 ・データマーケターとは									
2	ビッグデータとは ・ビッグデータとは ・ビッグデータの利用・背景・活用 ・小売業を取り巻く環境の変化									
3	データ活用 ・データ活用のステップ ・データの種類（自社データ・公的データ・民間データ） ・データから何が読み取れるか？データの見方の視点 ・RESAS、ウレコンの使い方									
4	エクセルハンズオン① グラフの作成 ・データマーケティングに必要なEXCEL操作（グラフ作成） ・グラフの種類とそれぞれの使い方を知る ・〈PW〉ウレコンの表を選びグラフが何を示しているかをパートナーに説明する。									
5	実習 ① ・〈ワーク&GW〉ウレコン、ドルフィンアイを使用する。 ドルフィンアイから、データをダウンロードする。 折れ線グラフを作成し、その折れ線グラフから読み取れることをグループで協議、共有して全体に発表する									
6	エクセルハンズオン② 散布図と相関 ・散布図の作り方 ・相関係数の意味 ・相関と因果 ・〈ワーク〉ドルフィンアイからダウンロードしたデータで相関係数を出して、2つの事項に相関があるか判断する									
7	企画提案のための思考法 ・利用者への共感から問題の理解 ・問題解決のためのアイデア出し（ブレインストーミング） ・試作品の提出とフィードバックの収集									
8	データ活用と各業界 ・データの利用とさまざまな業界を紹介する。 ・小売をベースに講座が進行しているが、その他の業界でもデータ活用がこれからのマーケティングの基礎になることを知る。 ・フィールドワーク（宿題）の説明									
9	POSデータ ① ・POSデータとはなにか ・POSデータ分析の重要性 ・〈ワーク〉ロコミサイトとPOSデータ ・POSデータの分析の方法と準備									
10	POSデータ ② ・POSデータの比較 ・POSデータから見えること① ・〈PW〉POSデータのサンプルからどの数字に注目するか？									
11	POSデータ ③ ・POSデータから見えること② ・〈PW〉折れ線グラフから何が読み取れるか？ ・売上げと価格									
12	フィールドワークの発表 ・事前に課題として与えておいた近所のドラッグストアやスーパーの調査（どんなものが売っているか？どんな売り場構成をしているか？競合店舗はあるか？など）を発表する。									
13	実習 ② ・〈GW〉サンプルデータを分析してグラフ作り、売れ行きのよいカテゴリはなにかを見つける。グループ内で協議・共有して、そのカテゴリを見つけたポイントや特徴はなにかを発表する。									
14	実習 ③ ・〈GW〉サンプルデータを分析して売り場に何を置いたらよいかを選定し、全体に発表する。他グループの差を見つけ、選定方法や方針の違いについてディスカッションを行なう。									
15	実習 ③ ・〈GW〉サンプルデータを分析して売り場に何を置いたらよいかを選定し、全体に発表する。他グループの差を見つけ、選定方法や方針の違いについてディスカッションを行なう。									
評価基準	評価項目/割合		評価内容							
	1. 課題	30 %	ワークシート等の状況の評価する。 レポート等の状況の評価する。							
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況、発言の積極性、授業に取り組む姿勢、締め切りの厳守を評価する。							
	3. テストその他	40 %	プレゼン 発表での評価、グループワークでの協力度 各章ごとの確認テスト及び 期末試験							
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	データマーケティングIB						学期	後	期
担当教員	清水 大樹	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。								
授業内容	データマーケティングの基礎をおさえ、ドルフィンアイ等のビッグデータを活用し、データの分析を行う。								
学習目標	マーケティングにおけるデータの取り扱いについて学び、実際の事例やデータを題材にして、仮説を立て分析することができる。								
使用テキスト	データマーケター養成講座 初級編								
週数	授業計画								
1	マーケティングの基礎① ・マーケティングとはなにか ・マーケティング1.0~4.0 ・マーケティングの4P								
2	ID-POSデータ ① ・ID-POSデータとはなにか ・POSデータとID-POSデータの違い ・ID-POSデータから見えること①								
3	ID-POSデータ ② ・売上げを構成する要素（因数分解）① ・〈ワーク〉売上げ分解ツリーを作ってみよう								
4	ID-POSデータ ③ ・購入率とリピート率 ・売れ続ける商品								
5	マーケティングの基礎② ・これからのマーケティング								
6	ID-POSデータ ④ ・併売とはなにか（考え方の基礎） ・リフト値 ・〈ワーク〉リフト値を求めてみよう								
7	実習 ④ ・〈ワーク&GW〉RESASに触れてみる。ドルフィンアイを駆使してテーマに沿ったデータを探し、仮説をたて、グループとして発表する。								
8	外部データの利用 ① ・外部データとはなにか ・気象データの利用								
9	外部データの利用 ② ・〈ワーク&GW〉サンプルデータから商品を確認し、どうしてその商品に決めたのかを協議・発表する。 ・ウェザーマーチャントライジング ・商品前線								
10	実習 ⑤ ・〈ワーク&GW〉外部データを利用した売り出し時期の選定								
11	マーケティングの基礎③ ・代表値について（平均・中央値・最頻値） ・（GW）ペルソナを作ってみる								
12	課題発見と提案 ① ・〈ワーク&GW〉与えられたデータを分析し、ペルソナを作成して課題を解決する。								
13	課題発見と提案 ② ・〈GW〉分析のまとめを行い、発表準備にとりかかる（発表用の模造紙作成とグループ内での発表の先行演習）								
14	課題発見と提案 ③ ・〈GW〉発表とその発表に対するコメント								
15	課題発見と提案 ③ ・〈GW〉発表とその発表に対するコメント								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	30 %		ワークシート等の状況进行评估する。 レポート等の状況进行评估する。					
	2. 授業姿勢	30 %		出席状況、発言の積極性、授業に取り組む姿勢、締め切りの厳守进行评估する。					
	3. テストその他	40 %		プレゼン発表での評価、グループワークでの協力度 各章ごとの確認テスト及び 期末試験					
課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	インターンシップ海外（ⅡB）						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	10
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあつた的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育成を目的とする								
授業内容	カナダでのワーキングホリデーと観光を通して課題を進める								
学習目標	富山県とカナダの観光地を体験、考察し新たな観光プランを創出する								
使用テキスト	オリジナルテキスト（ワーキングホリデープログラム）								
週数	授業計画								
1	ワーキングホリデー								
2	ワーキングホリデー								
3	ワーキングホリデー								
4	ワーキングホリデー								
5	ワーキングホリデー								
6	ビジネスモデルとはいろいろな業界のビジネスモデルについて□								
7	観光業の商品（サービス）の構成								
8	売上・経費・利益の仕組み□								
9	利用者の分析□（利用者の属性）								
10	観光スポット体験								
11	観光スポット体験								
12	アクティビティ体験								
13	アクティビティ体験								
14	カナダの観光スポットやアクティビティの分析								
15	カナダの観光スポットやアクティビティの分析								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 70 %			授業内の課題の取組み					
	2. 授業姿勢 30 %			言葉づかい、態度、マナー					
	3. テスト 10 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定									

科目名	インターンシップ国内（ⅡB）						学期	後 期	
担当教員	高野 直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	10
学習目的	授業で学んだホテルの知識を確認することを目的に現場で実践躬行することを目的とする。								
授業内容	現場の雰囲気、仕事内容を体験し、ホテル・ブライダル業界の実態について学習する。								
学習目標	授業で学んだ知識を活かし、また机上の学習とのギャップを理解する。								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる（毎週金曜日）								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 70 %			授業内の課題の取組み					
	2. 授業姿勢 30 %			言葉づかい、態度、マナー					
	3. テスト 10 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定									